Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

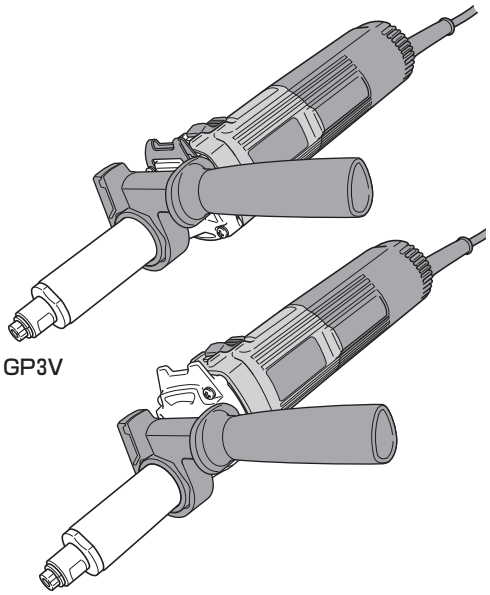
用途
- プレス、ダイカスト、モールド型などの仕上げ研削作業
- ダイス、工具類その他小形部品の仕上げ研削作業
- 工具類、機械部品の内面研削作業

二重絶縁

日立 電子ハンドグラインダ

25 mm GP 3V　　49 mm GP 5V

このたびは日立電子ハンドグラインダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



GP3V

GP5V

はじめに
- 電動工具の安全上のご注意 ……1
- 二重絶縁について ……3
- 本製品の使用上のご注意 ……4
- 各部の名称 ……6
- 仕様 ……6
- 別売部品 ……7

使い方
- ご使用前の準備 ……9
- スイッチについて ……10
- サイドハンドルの取付け方 ……10
- 軸付トイシ、軸付フラップホイールの取付け・取りはずし ……11
- インターナルトイシ（平形トイシ）の使用上のご注意 …13
- 研削する……15
- 研削用途とトイシの選び方 ……17

その他
- 保守・点検 ……18
- ご修理のときは ……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⚠警告

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に ⧈ マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子ハンドグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② 直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
- 製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

③ 使用するトイシは、下記条件の軸付トイシ、軸付フラップホイールまたは平形トイシを取付け、正しい使用面で研削してください。

	外　径	最高使用周速度
GP 3 V	25 mm以下	45 m/s {2,700 m/min} 以上
GP 5 V	49 mm以下	25 m/s {1,500 m/min} 以上

- 正規以外のトイシを使用すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

④ トイシやコレットチャック、トイシ軸の取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 誤ってスイッチを入れると、けがの原因になります。

⑤ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- 異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

⑥ 人体に有害な成分（鉛、シリカ、ヒ素、クロムなど）を含む材料を加工しないでください。
- 人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

⑦ 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。サイドハンドルを付属している場合は、サイドハンドルをしっかりと取付けてください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

⑧ 水、研削液などは使用しないでください。
- 乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

⑨ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

⑩ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- けがの原因になります。

⑪ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
- 火災ややけどの原因になります。

⚠警告

⑫ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑬ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑭ **誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑮ **〔事業者の方へ〕**
トイシの取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令　労働安全衛生法　第59条
労働安全衛生規則　第36条
安全衛生特別教育規程　第2条

⚠注意

① **工具類（トイシなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- はずれて、けがの原因になります。

② **新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時身体を避けてください。**
- トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

③ **試運転を励行してください。**
試運転時間は、P16の「⑥ 試運転を行う」をご参照ください。
- 試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。

④ **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

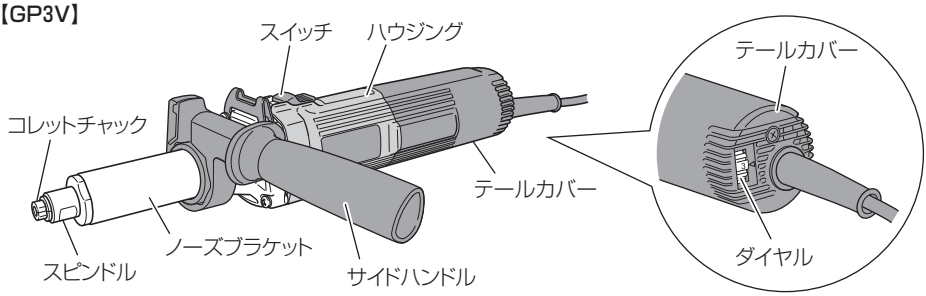
⑤ **無理に押しつけて、回転数が大幅に低下するような力をかけることはしないでください。**
- 作業能率を低下させるだけでなく、トイシ軸が変形して、けがの原因になります。

⑥ **先端工具、コレットチャックが確実に締付けられていることを確認してください。**
- はずれて、けがの原因になります。

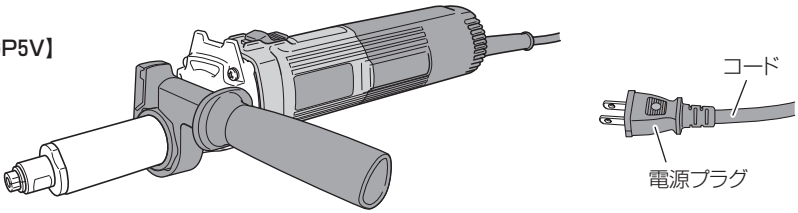
⑦ **作業直後の先端工具、コレットチャックは高温になっているので、触れないでください。**
- やけどの原因になります。

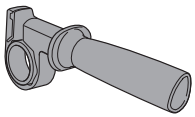
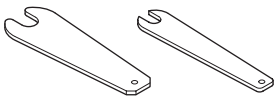
各部の名称

【GP3V】



【GP5V】



標準付属品	
サイドハンドル…1本 	スパナ　大・小…各1本 

仕　様

形　　名		GP 3 V	GP 5 V
使　用　電　源		単相交流　50／60Hz 共用　　電圧 100 V	
モ　ー　タ　ー		単相直巻整流子モーター	
全 負 荷 電 流		8.0 A	
消　費　電　力		760 W	
無 負 荷 回 転 数		7, 000 ～ 29, 000 min^{-1} {回／分}	2, 000 ～ 8, 300 min^{-1} {回／分}
トイシ寸法	軸付トイシ	外径 25 mm以下 軸径 6 mmまたは 3 mm	外径 49 mm以下 軸径 6 mmまたは 3 mm
	インターナルトイシ（平形トイシ）	外径 25 mm以下 ねじ径　M 10	外径 49 mm以下 ねじ径　M 10
質量（コードを除く）		1.8 kg	1.9 kg
コ　　ー　　ド		2心キャブタイヤケーブル　2.5 m	

別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

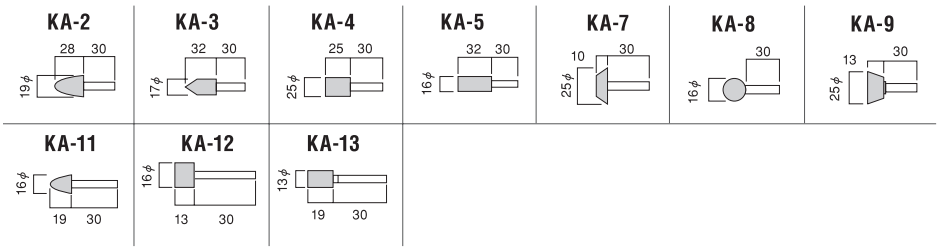
詳しくは、お買い求めの販売店、または日立工機の全国営業拠点（裏表紙参照）にお問い合わせください。

25 mm電子ハンドグラインダ GP 3V

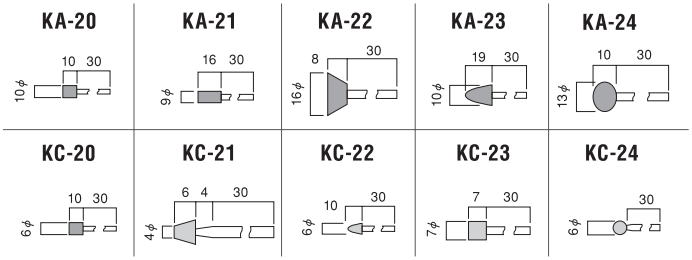
（単位:mm）

軸付トイシ（高速回転につきステンレス材の研磨には適していませんのでご注意下さい。）

●6mm用軸付トイシ・粒度（WA60P）

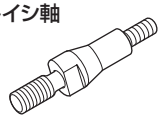


●3mm用軸付トイシ・粒度（WA80P）



インターナルトイシ（平形トイシ）用部品

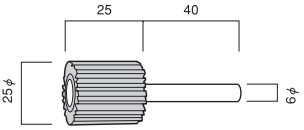
● トイシ軸



トイシ取付けねじ径:M10

インターナルトイシは市販の外径25mm以下をお買い求めください。

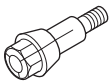
● 軸付フラップホイール



粒度
60
80
100
120

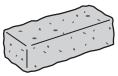
● コレットチャック

トイシ軸把握径（mm）
6 ※
3



● ドレッサー

トイシの目づまり修正



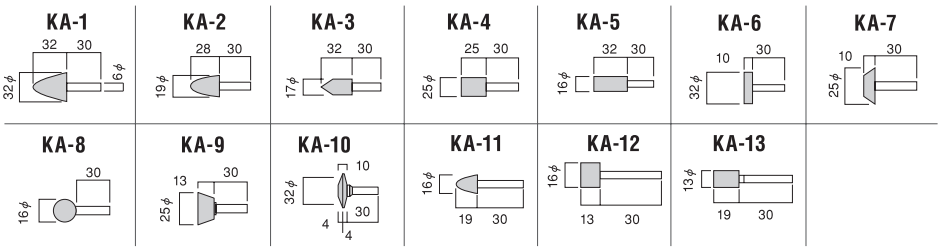
（※印は標準付属品と同じ物です）

49㎜電子ハンドグラインダ GP 5V

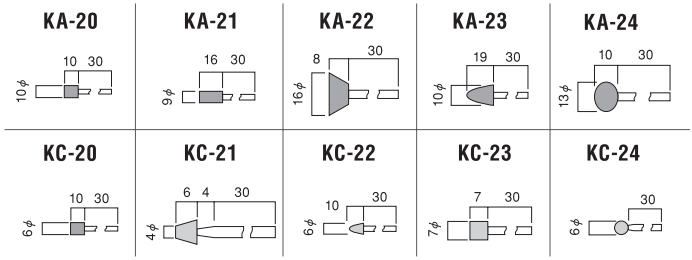
（単位:mm）

軸付トイシ（高速回転につきステンレス材の研磨には適していませんのでご注意下さい。）

●6mm用軸付トイシ・粒度（WA60P）



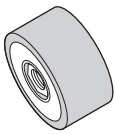
●3mm用軸付トイシ・粒度（WA80P）



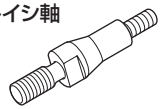
インターナルトイシ（平形トイシ）用部品

● インターナルトイシ

（外径38×厚さ19×ねじ径M10）
粒度A36RB

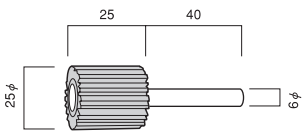


● トイシ軸

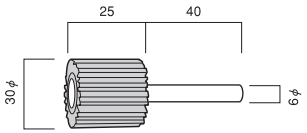


トイシ取付けねじ径:M10

● 軸付フラップホイール



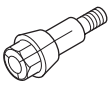
粒度
60
80
100
120



粒度
60
80
100
120

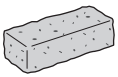
● コレットチャック

トイシ軸把握径（mm）
6※
3



● ドレッサー

トイシの目づまり修正



（※印は標準付属品と同じ物です）

ご使用前の準備

●漏電しゃ断器の設置

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm²）	最大長さ（m）
1.25	15
2	25
3.5	45

●作業環境の整備

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

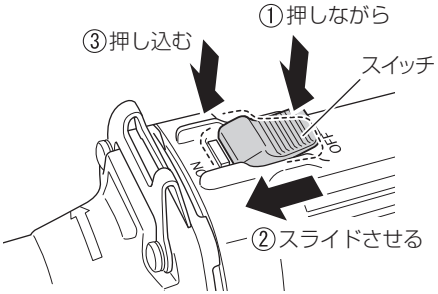
薄い鋼板などを研削する場合には、作業台の状況によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音が出る場合があります。このような場合には鋼板の下にゴムシートを敷くなどして騒音を出さない配慮が必要です。

スイッチについて

スイッチは①の方向に押しながら、②の方向にスライドさせると入り、はなすと切れます。

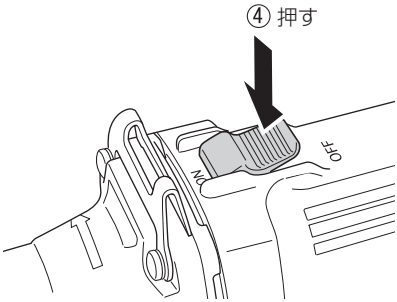
②方向にスライドさせたあと、③方向に押し込むとスイッチがロックされ連続運転ができます。

【 ロック：連続運転 】



ロックを解除し、スイッチを切るときは④の方向にスイッチを押します。

【 ロック解除：スイッチを切る 】



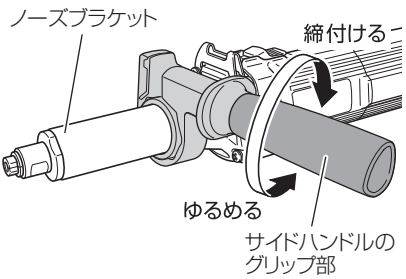
サイドハンドルの取付け方

⚠注意

サイドハンドルのグリップ部を十分に締付けてください。
グリップ部の締付けがゆるいと、作業時の反力を受けきれず、回ってしまうことがあります。

1 サイドハンドルをノーズブラケットに挿入します。

2 作業に応じて、サイドハンドルを使いやすい位置・角度に調整し、サイドハンドルのグリップ部を回して、しっかりと固定してください。



軸付トイシ、軸付フラップホイールの取付け・取りはずし

⚠警告

軸付トイシ、軸付フラップホイール、コレットチャックを取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
誤ってスイッチを入れると、けがの原因になります。

軸付トイシ、軸付フラップホイールは、必ず下記のものをご使用ください。

形　名	外　径	軸　径	最高使用周速度
GP 3 V	25 mm以下	6 mmまたは 3 mm	45 m／s以上 {2,700 m／min以上}
GP 5 V	49 mm以下	6 mmまたは 3 mm	25 m／s以上 {1,500 m／min以上}

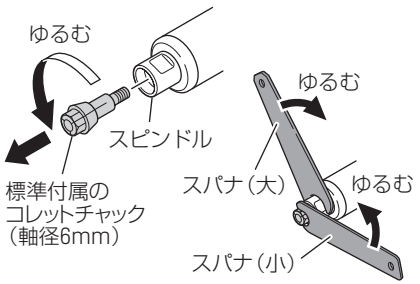
軸付トイシ、軸付フラップホイールを使用する場合は、次の手順に従い確実に取付けてください。

1 コレットチャックの内径と先端工具の軸径を確認する

コレットチャックは、**軸径 6 mm用**が標準付属されています。
使用する先端工具の軸径が 3 mmの場合、手順 ❷ ～ ❸ に従って、コレットチャックを別売部品の軸径 3 mm用のコレットチャックに交換してください。

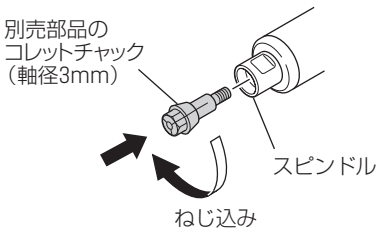
2 コレットチャックを取りはずす

簡単にゆるまないときは、付属の 2 本のスパナを使用して取りはずしてください。



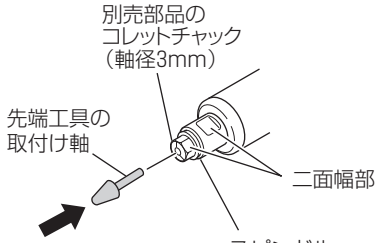
3 コレットチャックを取付ける

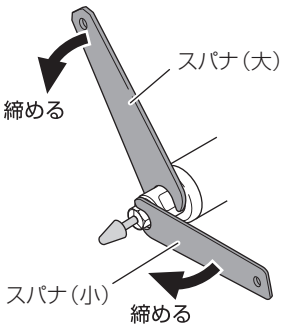
コレットチャック（軸径 3 mm用）をスピンドルに軽くねじ込んでください。



4 軸付トイシまたは軸付フラップホイールを取付ける

コレットチャックに先端工具の取付け軸を挿入した後、付属の2本のスパナをスピンドルとコレットチャックの二面幅部に引っ掛けて、しっかりと取付けてください。

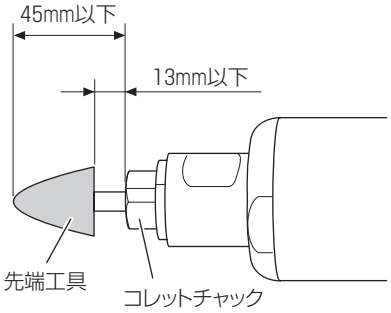




5 コレットチャックと先端工具の取付けを確認する

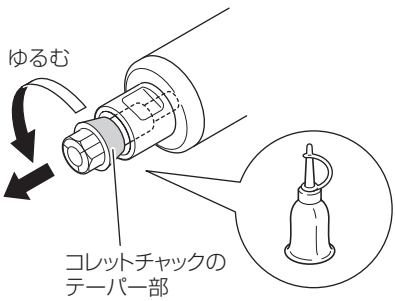
スパナ（大）、スパナ（小）を取りはずしたあと、手でゆるまないことを確認してください。

注 **• 軸付トイシ、軸付フラップホイールを取付ける場合は、下図のようにしてください。**
長く出しすぎると振動が大きくなり、機体に悪影響を与えるばかりでなく、けがの原因になります。



注 **• コレットチャックに正規の軸径より細い軸を入れたり、何も入れない状態でコレットチャックを締めないでください。**
コレットチャックが破損することがあります。

注 **• 軸付トイシ、軸付フラップホイールを取付ける場合は、下図に示すテーパー部にスピンドル油（ミシン油でもよい）を少量塗布してから、コレットチャックを締めてください。**
コレットチャックとスピンドルの寿命向上に効果があります。



インターナルトイシ（平形トイシ）の使用上のご注意

⚠ 警告

- **トイシ、トイシ軸・コレットチャックの取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  誤ってスイッチを入れると、けがの原因になります。
- **トイシ軸を取付ける際は、必ずコレットチャックを取りはずしてください。**
- **インターナルトイシは、へこみとラベルが外側になるように取付けてください。**
  トイシが破損して、けがの原因になります。

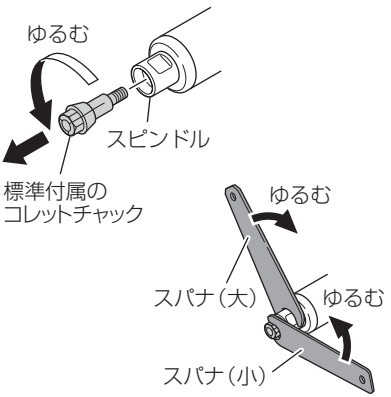
インターナルトイシは必ず下記条件のものをご使用ください。

形　名	外　径	ねじ径	最高使用周速度
GP 3 V	25 mm以下	M 10	45 m／s以上 {2,700 m／min以上}
GP 5 V	49 mm以下	M 10	25 m／s以上 {1,500 m／min以上}

インターナルトイシを使用する場合は、次の手順に従い確実に取付けてください。

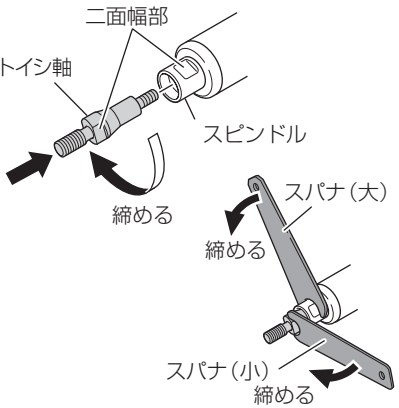
1 コレットチャックを取りはずす

簡単にゆるまないときは、付属の2本のスパナを使用して取りはずしてください。



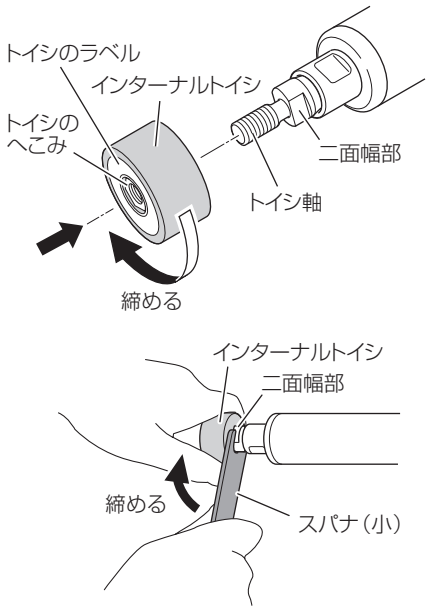
2 トイシ軸を取付ける

付属の2本のスパナをスピンドルとトイシ軸の二面幅部に引っ掛けて、しっかりと取付けてください。



3 インターナルトイシを取付ける

付属のスパナ（小）をトイシ軸の二面幅部に引っ掛けて、しっかりと取付けてください。



4 トイシ軸とインターナルトイシの取付けを確認する

スパナ（大）、スパナ（小）を取りはずしたあと、手でゆるまないことを確認してください。

研削する

●プレス、ダイカスト、モールド型などの仕上げ研削作業
●ダイス、工具類その他小形部品の仕上げ研削作業
●工具類、機械部品の内面研削作業

⚠警告

- **手順❶～❹については、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。**
  誤ってスイッチを入れると、けがの原因になります。
- **作業中は、必ず保護メガネを使用してください。**
- **機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。**
- **万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。**

⚠注意

- **機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。**
  接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- **新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。**

❶ スイッチが切れていることを確認する

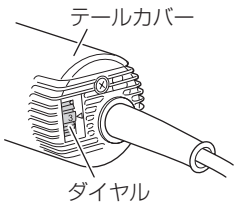
（P10「スイッチについて」参照）

❷ トイシを確認する

- トイシは正規のものか、またヒビや割れがないか調べてください。
- トイシは正規の状態に取付けられ、十分締付けられているか点検してください。

❸ ダイヤルをセットする

テールカバー後方のダイヤルで回転数を無段変速できます。
トイシを使用する際の回転数の目安は、下表のとおりとなりますので、用途に応じてダイヤルをセットしてください。



ダイヤルNo.	用 途	回転数（min^{-1}）{回／分}	
		GP 3 V	GP 5 V
1	研磨・仕上げ	7, 000	2, 000
2	塗装はがし	11, 400	3, 250
3	さび落とし	15, 800	4, 500
4	バリ取り	20, 200	5, 800
5	研削	24, 600	7, 050
6	粗い研削	29, 000	8, 300

4 電源・コンセントを確認する

- 必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。
  また、直流電源、エンジン発動機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
  製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
  そのまま使用すると危険です。
  電気工事店にご相談ください。

5 電源プラグをコンセントにさし込む

6 試運転を行う

- トイシにヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。
- 作業前には人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転時間は
トイシ交換のとき‥‥‥‥‥3分間以上
その日の作業始めのとき‥‥1分間以上

注 **• トイシは材料に強く押しつけないでください。機体自身の重さで研削できますから材料に軽くあてる程度に保持してください。**

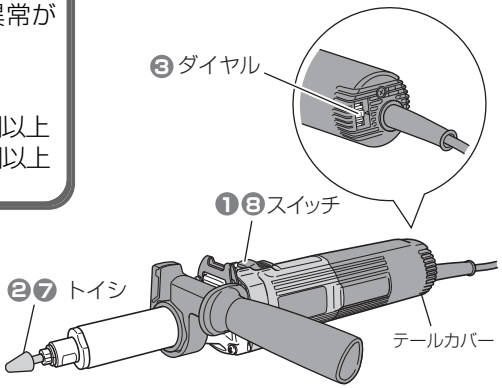
• 強く押しつけると回転が落ち仕上げ面がきたなくなります。また過負荷になってモーターが故障する原因になります。

7 材料にトイシをあてる

使用するトイシで指定されている正しい使用面で研削してください。

8 作業を終了する

使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。
回転が止まらないうちに切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあります。
機体の故障やけがの原因となりますので注意してください。



研削用途とトイシの選び方

被研削物の材質によって、使用するトイシの種類も変ってきます。研削用途に適したトイシを選んでください。
次に被研削物の材質とトイシの一応の基準を示します。

被研削物の材質	と粒	粒度	結合度	結合剤
軟鋼、硬鋼、鍛造鋼	WA	60～80	P	V
鋳鉄	C	36	M～O	V
黄銅、青銅、アルミニウム	C	36	J～K	V
陶磁器	WA	60～80	M	V
合成樹脂	C	36	K～M	V

保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●取付ねじの点検

各部取付ねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。
もしゆるんでいるところがありましたら、締め直してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。

●お手入れする

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 **モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。**
50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。
ごみやほこりの排出に効果があります。

●作業後の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

注 **・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。**
・軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
・温度が急変する場所には保管しない。
・直射日光の当たる場所には保管しない。
・引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店　TEL (011) 896-1740 (代)　〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店　TEL (022) 288-8676 (代)　〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店　TEL (03) 5783-0608 (代)　〒108-6020 港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
中部支店　TEL (052) 533-0231 (代)　〒451-0051 名古屋市西区則武新町1丁目32番16号
北陸支店　TEL (076) 263-4311 (代)　〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店　TEL (0798) 37-2665 (代)　〒663-8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店　TEL (082) 504-8282 (代)　〒730-0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店　TEL (087) 863-6761 (代)　〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店　TEL (092) 621-5772 (代)　〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社
〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
国内営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

部品コード　C99195202 M